

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(2021.07.25)

文：武田、写真：山田

日時：2021(令和3)年 7月25日(日) 9:30～15:30

気象：晴(26℃)

活動エリア：44林班い

活動内容：里山保全(倒木、枯れ枝処理)

参加者：猪川 誠、石原順子、斧田一陽、倉谷邦雄、武田壽夫、中村賢三、山田真也

(体験)中野照子

会員7+体験1=計8名

<五輪 真っ最中>

柔道の阿部きょうだい(神戸出身)が**日本初の金メダル**。四年に一度のスポーツの祭典がポスト・コロナへの智恵と力を拓く事を願うや切。で、**森林づくりも我々なりの明日への贈り物(のつもり)**。体験の方も加わり8人で山に向かう。今日の作業場所は天狗杉近くの自然歩道西斜面、18日の整備範囲を麓側へと広げたい。連日、町中は36℃にもなるが、さすがに山の気温はやや低く、**ヒグラシが応援**してくれる。**ハイカーが多いので頭上の枝切りは要注意(通過中は作業止め)**。

なお、この日はハイカーの**篤志を得**、我々も山歩きでは見習いたいもの。

(ケース1) 杭材運びを手伝ってくれる

(ケース2) 散らばった切り落とし枝の棚積みを手伝って貰う

(ケース3) 手持ちの鋸で太い落枝の玉切り(「邪魔な枝を切るために鋸は常時携帯」とのこと)

<今日の成果>

天狗杉に向かって上手、下手に別れて作業。上手組は倒木の枝を落とし、日照が通るように。下手組は斜面の倒木の枝が散らばる林床整備と歩道から5m下の倒木処理(歩道脇へ運び上げ、玉切り材を置き並べる)。足場の制約があり、それでも面積的には合計200㎡の範囲を整備

<写真編①>・・・活動地地区は概ね18日と同じ

【景観を遮る倒木の枝を切ると→→】



【→溪が見通せるように】



<写真編②>

【溪の斜面は随所に倒木-見る度に暴風の勢いを実感】



【高枝切り鋸で歩道頭上の倒木の枝切り】



【歩道下 5m の倒木を処理し→→】



【→玉切り材を活用：自己責任で座っています】



【手持ちの鋸を取出したハイカーの手助け】



【蛙さまのお出まし】

